

発泡スチロール球で分子模型を作ろう

2013. 8. 23 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

8月1日と2日に小樽市総合博物館で科学の祭典小樽大会が行われ、ボクは「発泡スチロール球で分子模型を作ろう」というテーマで分子模型作りのブースを出しました。

科学の祭典の小樽の実行委員会からは、2011年から声をかけてもらっていて、ずっと参加しています。

朝、8時に会場に入り、関係者受付を済ませ、道具と材料を搬入し、10時の開場に間に合うように準備をしました。

1日はちょっと天気が悪く、分子模型ブースのある研修室まで来る人は多くはありませんでした。それでも小樽市内で仮説実験授業を受けている子どもたちが何人か来てくれたり、科学の祭典に参加している西陵中学校理科部の生徒が休憩時間に来てくれたりしました。また、まったく分子や原子について知らない子どもも来てくれて、「水はとても小さい水分子からできているんだよ」とか、「顔を団扇で扇ぐと風が当たるけど、それは小さな空気の分子が顔に当たってるんだよ」などと説明し、原子・分子のイメージを少しでももってもらえるように説明してから、分子模型を作ってもらいました。

午前中は少なかった分子模型ブースも、午後からは用意した4席がほぼ満席になり、駐車場係や会場係を担当してくれた科学の祭典の実行委員の人たちが来てもらえませんでした。

去年は次女と三女に手伝いを頼みましたが、今年は来てもらえず、潮見台小の渡邊真紀子さんと2人で、なんとか作ってもらうことができました。



2日目は天気も良く、10時の開場後に分子模型ブースにも子どもたちがたくさん来てくれました。中には、1日目に初めて分子模型を作ったのが楽しくて、2日目も来てくれた子どももいました。

2日目は分子模型ブースに人が途切れることがなく、昼食をとるのもやっとなで、終了まで、ひたすら分子模型作りや分子についての説明をし続けました。

作った分子模型は水、空気の分子、エタノールで終わらず、ブドウ糖、氷、カフェイン、ニコチン、ポリエチレンまで作ってくれました。

次回は冬です。1月11日に小樽市総合博物館で行いますので、分子模型を作りに来てくださいね。

